

「感じ」「動き」「かわる」…子どもも学校も、さらに一步前へ！

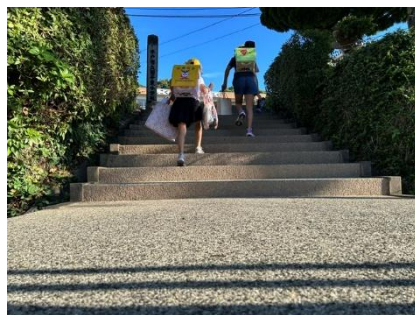


さくらの学校だより

平戸市立田平東小学校 学校だより 令和8年9月7日 文責：校長 森川 稔

おだやかに、元気よく

2学期が始まって一週間が経ちました。始業式の朝の様子です。夏休みに取り組んだ作品をきょうだいでかかえながら歩いてくる子、夏休み中の楽しい思い出を話しながら階段を上がっていく子、登校を見守って下さる地域の方に気持ちのいいあいさつをしながら横断歩道を渡る子など、それぞれに元気よく登校してくる姿が見られました。暑い朝でしたが、それぞれにおだやかに、元気よく登校してくる姿を見て、充実した夏休みを送ることができたことと、2学期の学校生活を楽しみにしている様子が伝わってきました。



始業式の中では、5年生の2名が代表で2学期の抱負を述べてくれました。友だちを大切にすること、優しい言葉を使う、新しいことに挑戦する思いが伝わってきます。

ぼくが2学期にがんばりたいことは、友だちを大切にすることです。ぼくは、一人だと学校が楽しくないです。毎日いっしょに勉強をしたり、遊んだり、笑ったりできるのは友だちがいるからです。

一学期を振り返ると、ぼくは友だちにたくさん助けてもらいました。例えば、自分が落ちこんでいるときに、「大丈夫だよ」と声をかけてもらいました。ぼくは、その言葉にはげまされました。だから2学期は、ぼくが友だちを支えられるようになりたいです。困っている友だちがいたら自分から「大丈夫？」と声をかけます。一人でいる友だちがいたら、「一緒に遊ぼう」とさそいます。

来年、ぼくたち5年生は最高学年になります。今年の6年生は下級生や友だちに、やさしく声をかけ、みんなをまとめてくれました。ぼくはその姿をみて、とてもかっこいいと思いました。ぼくもそんな6年生になるためには、今から友だちを大切にすることを意識しなければいけないと思います。

小さなやさしさや思いやりを毎日積み重ねることで、みんなから信らいされる人になれると思います。2学期が終わるころには、今より成長した「友だちを大切にできる人」になります。

5年 K.M

わたしが2学期にがんばりたいことは2つあります。

1つ目はわたしのよさである積極性をいかすことです。わたしはもともと積極的な方ではなく、授業中に発表することも苦手でした。最初は間違えたらどうしようと思っていただけ、間違ってもまた挑戦したらいいと言ってもらったことがきっかけで自信をもって手をあげることができるようになりました。1学期は、宿泊学習の司会やクラスリーダーに自分からりっこうほしました。失敗することもあったけれど、失敗したからこそ分かったことやできるようになったこともありました。2学期も失敗をおそれず、いろいろなことに挑戦したいです。そして、わたしの積極性をいかして、クラスを引っ張り、みんなのために行動できる人になりたいです。みんなのお手本になれる人を目指してがんばります。

2つ目は、やさしい言葉をつかうことです。わたしは、言葉使いが悪いと家族から言われることがあります。「人が言われていやなことは人に言わない」と心にちかって毎日ですごしたいです。それは家でも学校でもどこでもだれに対しても同じです。いやな言葉を聞いたら注意したいです。やさしい言葉がたくさんあふれる東小学校にしたいです。

5年 H.Y



「考える」をキーワードに

2学期始業式の中で、子どもたちに「考える」ということについて話しました。

2学期のスタートにあたって、みなさんに心がけてほしいことを「一つだけ」お話しします。それは、「考える」ということです。「考える」ということは、簡単に思えて、毎日の生活の中で続けるのは意外と難しいことです。

一つ目は、「勉強で考える」です。

算数の問題を粘り強く解いたり、図工でアイデアを工夫したりすることです。すぐに「わかりません」と言うのではなく、「まずは自分で考えてやってみる」。これは毎日の授業でさっそくできますね。

二つ目は、「言葉づかいを考える」です。

平和集会でも話しましたね。どんな言葉が相手を嫌な気持ちにさせるのか、逆にどんな言葉がうれしい気持ちや優しい気持ちにさせるのかを考えることです。田平東小を「うれしい言葉があふれる学校」にしていきたいと思います。

そして三つ目は、「友達とのつながりを考える」です。

みなさんは毎日、たくさんの友達と一緒に過ごしています。そんな時、自分だけの気持ちを考えていたらどうでしょう。「自分だけこうしたい」「自分が勝ちたい」。そればかりだと、まわりの友達は思うでしょう。

友達と一緒に過ごすということは、「友達はどう思っているかな」「どうしたらみんなで楽しめるかな」と考えることです。

授業でも同じです。発表が得意な人もいれば、人前で話すのが苦手な人もいます。すぐに問題が解ける人もいれば、じっくり時間が必要な人もいます。

人には、一人一人「違い」があります。だからこそ、「どうしてできないの？」ではなく、「どうしたら一緒にできるかな？」と考えてほしいのです。

自分と違う考えの人がいても、「おかしい」と決めつけるのではなく、「どうしてそう考えるのかな？」と相手の気持ちを考えてみる。「自分だけがよければいい」ではなく、「みんなで楽しくなるにはどうすればいいか」を考えられる、そんな田平東小学校にしていきたいと思います。

1学期末、すべての先生方で教育活動の反省をし、その中で「学びに向かう姿勢」や「言葉づかい」、「友だちとの関わり方」について改善の必要性を感じました。子どもたちに指示を出したり、強い口調で伝えたりすることで、その場の行動を変えることはできます。しかし、それだけでは、子どもたち自身が「なぜそうするのか」を考え、行動を変えていくことにはつながりません。

大切なことは、子どもたち自身が自分で「考える」ことです。3つの視点で考えることを話しましたが、すべてを子ども任せにするのではなく、私たち教職員自身も「考える」ことを意識します。子どもには一人一人個性や学力、特性など「違い」があります。それを「みんなと違うね」で終わらせるのではなく、「どうすればこの子もあの子も安心して授業に参加できるだろうか」「どんな準備や言葉がけがあれば、この子は落ち着いて取り組めるだろうか」と学びの環境やルール、関わり方を“アダプト(適合・調整)”していくことを目指します。

「周囲とうまく関わりながら、自分らしさを発揮できる力」すなわち「生きる力」の育成に向けて2学期も「考える」をキーワードに子どもたちと一緒に取り組んでまいります。

ご来校をお待ちしています

明日(8日)は授業参観・懇談会です。2学期のお子さんの学びに向かう様子を参観していただき、学級懇談会では、夏休みの様子や2学期の学級経営についてお話しできればと考えています。

また、先週金曜日より夏休み作品展も行っています。子どもたちが夏休み中に取り組んだ力作をご覧いただき、よろしければ感想も寄せていただければと思います。多くの保護者、地域の皆さまのご来校をお待ちしています。

田平東小HPはこちらから→

